

区分	チェック項目	事業所評価	保護者評価				評価を踏まえた改善・対策	
			はい	どちらでもない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	利用者の成長で狭く感じるが増えてきたので工夫をしている。	はい	17人	いいえ	0人	曜日により支援に差があるため、打合せを行いスペースの確保をしている。
	2	職員の適切な配置	日々のミーティングで確認して安全性を確保している。	はい	21人	いいえ	0人	
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	車椅子や重度の利用者には難しい。	はい	15人	いいえ	0人	
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	業務終了後、特に清掃には細かい場所まで消毒等を行っている。	はい	20人	いいえ	0人	
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画		はい		いいえ		
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施		はい		いいえ		
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	定期的に行っている。	はい		いいえ		
適切な支援提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	情報を共有しながら行っている。	はい		いいえ		
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	毎月のスケジュールを週単位で決定して活動を行っている。	はい	22人	いいえ	0人	活動がマンネリ化にならないようにスケジュール調整を行いつつ、子どもの反応を観察する。
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	職員同士が常に状況を把握できるようにミーティングを行う。	はい	22人	いいえ	0人	子どもの変化に気づいた時点で意見交換しながら見守りをする。
	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	自発管からの支持に基づき行っている。	はい	21人	いいえ	0人	指導員も気づいた点は積極的に意見を述べる。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	担当を決めて行っている。	はい		いいえ		
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	事前準備に時間を費やす。	はい		いいえ		
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	スケジュールを変えて予定を決める。	はい	21人	いいえ	0人	子ども達の意見を聞いて反映させる。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	日々ミーティングを行い周知する。	はい		いいえ		
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	共有できている。	はい		いいえ		
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日々の活動記録を入力している。	はい		いいえ		
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	職員同士意見交換している。	はい		いいえ		
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	参加している。	はい		いいえ		
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施		はい		いいえ		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備		はい		いいえ		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	送迎時に伝達事項を確認している。	はい		いいえ		
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	職員が資料を収集して情報提供している。	はい		いいえ		
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	あまり実現できていない。	はい		いいえ		
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	活動は熱望しているが、コロナ禍の影響で実現できていない。	はい	1人	いいえ	6人	状況が変わり次第積極的に計画していく。

	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	活動は熱望しているが、コロナ禍の影響で実現できていない。	どちらも無い	わからない			
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	対面では難しい状況。	はい	18人	いいえ	0人	電話や文書でわかりやすく伝える。
				どちらも無い	4人	わからない	0人	
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	送迎時や電話で保護者と密に連絡を取り合っている。	はい	20人	いいえ	0人	課題が生じた場合はその都度連絡を入れる。
				どちらも無い	2人	わからない	0人	
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	電話や送迎時の対面で行っている。	はい	8人	いいえ	2人	今までどおり電話・対面で意思の疎通を図る。
				どちらも無い	7人	わからない	5人	
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	子どもに変化が見られた時点で保護者と共有して解決策を共有している。	はい	20人	いいえ	0人	保護者からの意見や申し出を親身に聞いていく。
				どちらも無い	2人	わからない	0人	
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	相談が生じた場合は、個別に対応する。	はい	16人	いいえ	1人	保護者の不安を和らげるようなアドバイスをしていく。
				どちらも無い	4人	わからない	1人	
6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	コロナ禍の現況では難しい。	はい	6人	いいえ	7人	保護者会等、開催が可能になった時点で早急に行う。	
			どちらも無い	6人	わからない	3人		
7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	問い合わせ等いただいた場合はすぐに対応している。	はい	15人	いいえ		苦情内容をしっかり聞いて、問題解決に取り組む。	
			どちらも無い	2人	わからない	5人		
8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	保護者と連携を取りながら考慮している。	はい	20人	いいえ	0人	子ども・保護者それぞれの意見を聞いて対応する。	
			どちらも無い	1人	わからない	1人		
9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	連絡帳・ブログ等を通じて配信している。	はい	17人	いいえ	0人	子どもの様子をわかりやすく伝える。	
			どちらも無い	3人	わからない	2人		
10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	職員同士常に意識して取り扱っている。	はい	20人	いいえ	0人	個人情報の取り扱い徹底は日ごろ常に職員同士で周知する。	
			どちらも無い	1人	わからない	1人		
非常時の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	全員が把握ができていない。	はい	17人	いいえ	1人	緊急時の連絡票の確認をして、どの職員でも連絡ができるようにする。
				どちらも無い	2人	わからない	2人	
	2	非常災害の発生に備えた、定期的避難、救出その他必要な訓練の実施	定期的には実施できていない。	はい	9人	いいえ	1人	定期的にスケジュールを組み、実際に起こった場面を認識させる。
				どちらも無い	3人	わからない	9人	
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	意識はあるが、実践研修は少ない。	はい		いいえ		研修の機会を設ける。
				どちらも無い		わからない		
4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	事前に保護者と確認し合っている。	はい		いいえ			
			どちらも無い		わからない			
5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	アセスメントシートを基に配慮している。	はい		いいえ			
			どちらも無い		わからない			
6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	事例があった場合は議題にして話し合いを持つ。	はい		いいえ			
			どちらも無い		わからない			
満足度	1	子どもは通所を楽しみにしているか	楽しみにしてくれている。	はい	21人	いいえ	0人	保護者も楽しみにしてもらえるような計画を考えていく。
				どちらも無い	1人	わからない	0人	
2	事業所の支援に満足しているか	満たされている様子はうかがえる。	はい	20人	いいえ	0人	より一層満足度を上げるよう改革していく。	
			どちらも無い	2人	わからない	0人		